

災害時の交通マネジメントの実施

災害時は、被災箇所の復旧作業を行うとともに、地域経済への影響を早期に軽減するため、通行止め箇所からのう回誘導、う回に伴うボトルネック対策などの交通マネジメントが重要です。こうした災害時の交通マネジメントを実施するために、災害発生時に有識者や道路管理者、警察等からなる検討会を迅速に開催できるよう各府県で体制構築しています。今後は、CCTVカメラや交通ビッグデータを積極的に活用しながら、更に効果的なマネジメントを展開していきます。

尼子山トンネル火災で山陽道が通行止め → 並行する国道2号等で渋滞が発生

大阪方面：令和5年9月5日～9月11日 岡山方面：9月5日～12月15日

中国道へのう回促進策(アプリクーポン)

スマホアプリを活用し、中国道へのう回利用に促して、1回あたり500円分のポイントを付与



- 1 アプリをインストール
- 2 位置情報の利用許可 計測ボタンをON
- 3 指定のう回ルートでの走行で毎走行ポイントゲット
- 4 たまったポイントをクーポンに交換

3連休等や休日において、アプリクーポン導入前と比較し、山陽道の乗り継ぎ台数が最大19%減少

3連休等

月	乗継台数(台/日)	変化率
9月	7,000	-
10月	5,500	-19%
11月①	5,800	-12%
11月②	5,500	-13%


休日

月	乗継台数(台/日)	変化率
9月	5,000	-
10月	4,900	-9%
11月	5,000	0%
12月	4,750	-5%

信号現示適正化による混雑緩和対策

国道2号の下り線(岡山方面)で渋滞の先頭となっている交差点(4箇所)で信号現示の適正化を実施

■国道2号の信号現示適正化箇所



■東有年付近の信号現示適正化後の所要時間変化

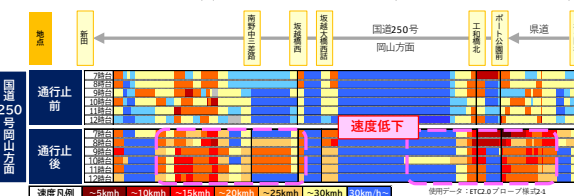
※国道2号下り線 有年駅前交差点～有年小学校南交差点間(約2.8km)の平均所要時間
使用データ：ETC2.0プローブ

時間	信号現示適正化前(分)	信号現示適正化後(分)	改善率
13～15時	8.8	7.8	-
15～17時	9.6	6.4	約3分改善
17～19時	9.4	6.7	約3分改善

国道250号等のう回路の見直し

市街地を通る国道250号において速度低下が発生したため、う回路の見直しを実施

■通行止め区間と並行する国道250号の速度カウンター (ETC2.0プローブ平均旅行速度)



■国道250号へのう回路案内は行わず、中国道及び国道2号を案内。

